

さまざまなヒントをいただいて！

●浦高同窓会理事会、地域職域同窓会責任者会議！

23日(土)は、麗和会館にて午前中に「令和5年度第4回理事会」、午後からは「第16回地域職域同窓会責任者会議」が開催され、私も両会議に出席させていただきましたので、会議の概要をお知らせします。

◇ ◇

◆令和5年度第4回理事会

今回の理事会では、「令和6～7年度役員(案)」「令和6年度事業計画(案)及び予算(案)」が審議され、併せて昨年の事業計画等検討委員会で検討した内容について予算に反映された部分等が再度報告されました。

- ・「令和6～7年度役員(案)」では、野辺博会長(24回)以下の体制が示され承認されました。この案を基にして6月の社員総会で審議されます。
- ・事業計画検討等委員会では、単年度収支が漸減していく中で、収支バランスをどのように取っていくか、問題と解決策を提案しています。特に、在校生が高校卒業と同時に同窓会会員となることを鑑み、母校及び在校生への支援を今以上に手厚くすることや3つの引当資産のあり方などが議論されました。
- ・「令和6年度事業計画(案)及び予算(案)」については、上記検討委員会の提言も踏まえて、校長先生等と相談の上、母校支援引当資産から約90万円を当てて必要とされる備品購入等に充てることにしています。また、令和5年度中に県施行による麗和会館の大規模改修が終了したことから会館補修費引当資産を皆減して一般財源化することにしています。

同窓会の運営に当たっては、現在は約59百万円の資産があるものの、今後、単年度収支を合わせていくために会費などの収入を増やすことと、一方で同窓会事業の中で大きな支出を伴っている会報発行について支出を削減することなどについて引き続き検討していくことになりました。

また、「浦高スポーツ環境等整備応援プロジェクト」のリーダーを務められている橋本義昭同窓会副会長(23回)から「グラウンド人工芝化」の状況報告がありました。

1. 目標額 6,600万円に到達：3月2日現在で6,635万円と目標額を上回ることができました。

2. 実現に向けての3つの課題

- ① 県の見解では6,600万円では完成できないと言われており、県の設計額がいくらになるのか
- ② 県から必要額が提示され、それを同窓生等に依頼することになった場合、ふるさと納税制度が継続して活用できるか
- ③ 人工芝については10年程度での張替えなど定期的なメンテナンスが必要であり、地域へのグラウンド開放も含めて、メンテナンスのルールを決める必要がある

その他、在校生や保護者による「共学化反対署名」が北浦和駅前で行われていることなどが報告されました。署名は右の署名サイトでも可能(重複不可)です。



◇ ◇

◆第16回地域職域同窓会責任者会議

第16回地域職域同窓会責任者会議には、25の地区職域同窓会から53名(WEB参加2同窓会2人)が参加して開催されました。(欠席5同窓会)

各同窓会の報告の中で、私の印象に残った同窓会をご紹介します。

◆西部浦高会 「WEBサイトで記念誌発行」

都県境、荒川西岸、西部秩父線に囲まれた地域(志木より以北)を対象エリアとして集う西部浦高会では、「20周年記念誌『対岸より』(仮題)」をWEBサイトで立ち上げられ、現在、更新中だそうです。この日はサンプル(下記、<https://seibuurako.com/>)をご紹介いただきました。20周年記念誌は「春日部地区浦高会」「久喜麗和会」などで発行されていますが、WEB版で随時更新も可能ということで成長していく記念誌の登場は素晴らしいことです。



◆スタートアップ麗和会 「20代の若手同窓会」

2022年に設立され、2024年から正式に事務局体制を固めて活動を始めたスタートアップ麗和会、メンバーの平均年齢20代後半というのが素晴らしいですね。現在の活動は、半期に1度程度の懇親会で、各自の事業状況や考え方などを語り合っているようですが、今後、ゲストスピーカーなどを招聘したり、麗和セミナーへの講師派遣などを計画されているそうです。

「スタートアップ」とは、革新的なビジネスモデルによって社会に変革(イノベーション)をもたらす企業活動のことを指すそうです。

◇ ◇

各地域職域同窓会の課題が会員の高齢化と会員獲得であり、西部浦高会のWEBサイトの活用や若手同窓会の活躍など、今回の会議でも大いに参考となる活動を知ることができました。また、2025年度は各地域同窓会が地域貢献事業を計画されており、コロナ禍が終息してますます活動が活発になりそうです。春日部地区浦高会でも体力を蓄える時期になっています。